

トラック運送事業の抱える課題

- ・トラック運送事業者は約63,000社に及び、そのほとんどが中小零細事業者であって、激しい競争環境にさらされている。
- ・世界的な同時不況により、急激な荷動きの減少といった影響が出ており、厳しい経営環境が今後も続くことが懸念されている。

望ましい姿

- 運賃収受の適正化、健全な競争環境の整備などの取引適正化の促進により、景気の悪化、燃料高騰の影響を受けにくく、かつ、荷主や元請と対等に取引を行うことができる**トラック運送事業**
- 安全かつ環境に優しい効率的なトラック輸送サービスを安定的に供給し続けることにより、国民生活と経済・産業の発展に貢献

トラック運送の現状・実態等について現状把握・分析を行い、今後のトラック運送の産業としてのあり方や行政の関与のあり方等について検討を行う。

検討会

行政、トラック協会を主とした関係者により、トラック産業に関する基礎データの収集・分析等を行う。

(概ね21年5月～7月)

勉強会

行政、トラック協会だけでなく学識経験者、トラック事業者等も加えた上で、トラック事業者等に対するヒアリングを中心に論点の抽出を行う。

(概ね21年10月～22年3月)

調査会

有識者、経済団体代表なども加えて、トラック産業の将来ビジョンを策定する。

(概ね22年4月～22年度末頃)

※ スケジュール等については、現段階における想定であり、今後、検討の進捗状況に応じて変わりうる。